



ちょっと子供たちに任せてみませんか？「自律した学習者」を育てるために

西部教育事務所 所長 池田 卓巳

令和6年度となりました。今年度も教職員の皆様のおかげで、日々の教育活動が推進されていることに感謝申し上げます。2024年3月に「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」が策定されました。この群馬県教育ビジョンには、変化の激しい社会に対応できる資質・能力の育成等の重点施策が示されています。お読みになった方は、「エージェンシーを発揮する」「自律した学習者」といった言葉が目に入ったことと思います。

これまでも各学校では、「子供たちが目を輝かせる授業をしたい」「学校行事で子供たちを活躍させたい」と考えて、教育活動に取り組まれてきたことと思います。群馬県教育ビジョンの中で「エージェンシー」は、「人が誰しも生まれついて持っている、自分と社会をより良くしようと願う意志、原動力」とされています。このような力を発揮し、自律した学習者となる子供たちの姿は、これまで各学校で目指してきたことと一致するのではないのでしょうか。学ぶ内容はこれまでと変わりませんが、「これからの時代を生き抜き子供たちを育てるために、学び方を見直してみませんか」ということが、群馬県教育ビジョンのメッセージと言えるでしょう。

とはいうものの、学校では既に新学期が始まり、教育活動も進められています。昨年度までの教育活動を一新することが求められているわけではありません。詳細は群馬県教育委員会からリーフレット（※1）が出ていますので、そちらをご覧くださいと思いますが、簡潔に言うと、学習指導については、講義型の授業ではなく、子供たちに任せる時間をつくる「主体的・対話的で深い学び」への転換が大切ということになります。また、単元のまとめの時間の使い方を、子供たちに

任せる方法もあると思います。基礎・基本の定着を目的とする課題、発展的に取り組める課題から選択して取り組めるようにすると、能動的な学びとなるでしょう。その際の教材として、ICT機器も便利で効果的なツールになると思います。

コロナ禍では学校行事等も中止や変更が余儀なくされました。今年度も行事の持ち方について議論することがあると思います。その際、学校規模や実態によりその範囲は変わりますが、ある部分子供たちに任せてみてはどうでしょうか。保護者や地域の理解が必要な場合には、学校運営協議会で目的や趣旨を共有しておくことも大切です。管理職として、または先生方がご自分の担当の中で、子供たちに任せられる部分はないかと思直してみるとよいと思います。そして、任せた部分については取組や考えのよさを認め、学校経営の中で生かす仕組みも大切だと思います。そのような成功体験が自己肯定感や自己有用感を育み、次の取組につながっていくことでしょう。

繰り返しとなりますが、学校では着々と教育活動が進められています。その中で、子供たちが自律した学習者となれるよう、できる範囲の工夫をしてみてください。そして、子供たちの姿を基に成果を振り返ることができるとよいと思います。

※1 各種リーフレットは、「群馬県教育委員会→群馬県教育ビジョン」のページからご覧いただけます。

<https://www.pref.gunma.jp/site/kyouiku/628639.html>



各学校における教育目標の具現化に向け、学校教育係では下記の事業の支援を行っています！

○「各教科等授業改善プロジェクト 指定校事業」(群馬県教育委員会 義務教育課)

管内4校の指定校に、各教科の目標に迫ることを目指した授業づくりについて研究を進めていただいております。指定校及び研究教科については以下のとおりです。

・高崎市立金古南小学校	} : 理科	・安中市立磯部小学校	: 音楽
・高崎市立並榎中学校		・藤岡市立西中学校	: 技術 (プログラミング)

○「特別支援教育専門相談員の派遣」

各学校・園等に在籍する特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒への指導等について、先生方の相談に応じています。通常の学級・特別支援学級・通級指導教室を問いません。

上記事業・支援については、西部教育事務所のHPをご覧ください。

○「スクールカウンセラースーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーの派遣」

いじめ、不登校、学力不振、非行等の問題に対して、関係機関等とのネットワークを活用したり、ケース会議をしたりしながら困難な事案の解決に向けた支援を行います。

お電話でお気軽にご相談ください。

学校教育係 ☎027-322-5915

学校、家庭・地域が連携・協働するために、 目標とビジョンの共有をしましょう

2024年3月に「群馬県教育ビジョン（第4期群馬県教育振興基本計画）」が策定されました。その趣旨を踏まえ、西部教育事務所では、これまでのグランドデザインの見直しを行いました。

全体方針を「全ての人のウェルビーイングを実現する共に学び高めあう社会づくり」とし、それに向けて、家庭・地域と学校が手を取り合って、よりよい学校づくり、よりよい家庭・地域づくりを目指していきます。

そのためには、まずコミュニティ・スクールの機能を活用し、学校運営協議会で「どのような子供たちを育てていきたいか」について学校、家庭・地域の思いを伝え合い、目標、ビジョンを共有することが大切です。その上で、どのようなことができるか当事者意識をもって、対等な立場で話し合い、学校教育目標実現に向けた様々な活動（地域学校協働活動）につなげていきます。

今年度、西部管内の全ての小・中・義務教育学校は、コミュニティ・スクールとなりました。これを機会に、子供たちを中心において、学校と家庭・地域が手を取り合って、未来の担い手である子供たちを育てていきましょう。そして、子供たちだけでなく、子供たちに関わっている大人もウェルビーイングを実現し、共に学び高め合う社会づくりを目指していきましょう。



【西部教育事務所グランドデザイン】
西部教育事務所HPIに掲載



コミュニティ・スクール（CS）って、どんな学校のことを言うのですか？

学校運営協議会を設置している学校のことです。西部管内の学校は全てコミュニティ・スクール（CS）です。



学校と家庭・地域と協働すると、どんなよいことがあるんですか。

【**学校や教員**】は、地域と学校が子供の成長に向けた目標を共有することで、それぞれの地域や学校の特色を生かすことができます。

【**子供たち**】は、自分たちの活動が社会貢献につながるという実感をもてたり、地域の方から愛情を注がれることで、自己肯定感が育まれます。

【**地域**】は、活動に参画する地域住民の生きがいにつながったり、地域の活性化につながったりします。



学校や先生方の負担になりませんか。

対等な立場で話をしていく中で、学校教育目標実現のために、地域が学校の応援団になったり、地域の協力によって教職員が子供たちと向き合う時間が増えたりと、多忙化解消につなげていくことも期待できます。

生涯学習係では、ご希望に添った研修会を行います！

○出前型研修支援事業

市町村教育委員会、学校運営協議会委員、教職員、保護者等を対象にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関する出前型研修を受け付けています。

（昨年度実施例）

- ・地域学校協働活動、コミュニティ・スクールに関すること
- ・地域学校協働活動推進委員に関すること
- ・「ワクワク子育てトークン〜ぐんまの親の学びプログラム〜」など

上記事業・支援については、西部教育事務所のHPをご覧ください

時間、人数、内容等、まずはお電話でお気軽にご相談ください

生涯学習係 ☎027-322-5969